

【施設状況】

グループ名称	地域活動支援センターけやき								
指定管理者名	特定非営利活動法人なかじょう					法人番号	1100005007764		
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	1419	地域活動支援センターけやき							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制
施設概要	作業室3、休憩室1、事務室1								
施設設置目的	障害者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者に対し創作的活動、生産活動の機会の提供等支援を行う。								
基本方針等	利用者の意向を尊重して総合的に提供できるよう創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。								
主な実施事業	・作業訓練、生活訓練、社会体験訓練、相談								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	特定非営利活動法人なかじょう			指定回数	1 回	
指定期間	平成26年4月1日	～	平成31年3月31日	5年	管理運営開始日	平成22年12月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

No. 26

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	利用者数（登録者）	人	12	13	12	12	100%	
							#DIV/0!	3
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項) 定員14人 登録者12人 平成30年度日平均利用者：8人/日								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・利用者に対する通所の登録に関する業務 ・利用者の創作的活動又は生産活動の機会の提供 ・利用者に対する社会との交流促進等の便宜供与に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務						
	自主事業	・販売実習（パンの代行販売）等による社会訓練、地域交流も兼ねた地元イベントへの出店 ・季節を感じられるイベントや旅行の実施（お花見、スポーツ大会、暑気払い、日帰り旅行等 2カ月に1度程度）						
サービス維持・向上の取組み（広報等）	・地元の保健師や民生委員と密接に連携し、情報の共有化を図っている（利用者の掘起しにはつながっていない） ・通所の際に送迎サービス（中条地域内）をこれまでどおり実施							

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	
(2) 調査、会議等の内容		・作業の合間の休憩時間等に、職員と利用者全員でお茶を飲み、雑談を交える中で、自由に発言できる時間を設け、利用者の要望等の把握に努めている。 ・利用者相互で状態の変化等について気づいた点を、利用者から支援者へ情報提供することがある		
(3) 調査、会議等の結果		・「どこかへ出かけたい（旅行）」等の要望がよく上がる。 ・利用者の希望・要望はできるだけ、施設で開催する行事・催事に反映させる。		
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価	・利用者の要望に沿い、地元だけでなく周辺地域へも出かけ、積極的に地域間の交流を図っている。 ・自宅での生活が困難となってきた利用者のために、施設（グループホーム）入所について、交渉や手続きを行っている。 ・利用者及び家族から、「この施設「けやき」が、本当の自分の居場所」「ここがなくなるようなら困る」等、施設に対する愛着の意思表示がある。 ・「けやき」に来るのが楽しみであり、生きがいになっている様子を示している利用者が少なくない。		
	(2) 苦情・改善等の要望事項	特になし		
	《対応措置》			

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	9,547,000	指定管理料	9,547,000		雑（納付金）		雑（納付金）	
	委託料		委託料			行政財産 目的外使用料		行政財産 目的外使用料	
	販売収入等	220,000	販売収入等	306,690		貸付料		貸付料	
	その他収入	1,367,000	その他収入	1,387,618		その他		その他	
	作業収入	1,450,000	作業収入	827,810					
計	12,584,000	計	12,069,118	計	0	計	0		
支出	人件費	8,523,000	人件費	7,499,932	歳出	指定管理料	9,547,000	指定管理料	9,547,000
	設備管理費	379,000	設備管理費	118,540		委託料		委託料	
	備品購入費	70,000	備品購入費	0		需用費		需用費	
	修繕費	38,000	修繕費	58,072		役務費		役務費	
	光熱水費	416,000	光熱水費	644,142		使用料・賃借料		使用料・賃借料	
	事業費	1,916,000	事業費	1,451,330		修繕費		修繕費	
	事務経費	302,000	事務経費	334,908		工事請負費		工事請負費	
	本社経費		本社経費			備品購入費		備品購入費	
	その他		その他			その他		その他	
	計	11,644,000	計	10,106,924		計	9,547,000	計	9,547,000
自主事業	収入	0	収入	0					
	支出	0	支出	0					
自主事業損益	0	自主事業損益	0						
損益	940,000		1,962,194	差引	-9,547,000		-9,547,000		
人件費比率【人件費（賃金等）／平成30年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								74.2%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績 (うち市内雇用職員数) 施設長 常勤1人(1)、支援員 常勤2人(2)	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/>
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		3
	・地域のイベント（ふれあいまつり、農協祭、むしくらまつり、自治協主催事業など）に積極的に参加し、生産品の販売（さをり織り製品）等を行う。 ・地元の保健師や民生委員と密接に連携し、情報交換を行い、情報の共有を図る。		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	総合評価
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由

利用者の状況を考慮し、近隣企業からの受注を図ったり、地域の特性（中山間地域）を生かした農作業など様々な活動や作業が提供されている。
 自主事業では苗などの販売にも力を入れ、当該施設ならではの特産品（さをり織り）の製作も行っている。
 地域的な問題から、大幅な利用率の増加は見込めないと思われるが、施設利用者にとって日中の生活の場であり、就労の場であることを第一とし、毎日の送迎等、通所者に対するサービスを実施しながら、施設を運営している。
 利用者が「けやき」を必要としており、通所することを楽しみ(生きがい)にしている旨の意思表示があったことから、3 利用者評価を「4」とした。

取組み・改善案等（施設所管課）	前年度からの課題	改善状況	改善案等（改善されていない場合）
	・施設利用者の高齢化が進行（H30年度時点 平均年齢：59.6歳）している実態がある。		・利用者の高齢化については対処の方策がない。
次年度の目標・取組み等（施設所管課）	・地域の保健師、民生委員等との連携により、地域内の情報を共有することで、新たな利用者の受入れを図る等、利用者増に向けての取組みを引き続き行う。 ・安定した作業の確保と、工賃アップへの取組みを、引き続き行う。		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

施設としてのサービス、利用者に対してのサービスは要項を厳守した上で、中条地区は中山間地のため障がい者にとっては施設利用が不便であるため利用者全員を送迎している。
利用者・地区内にとっては利便性のある施設運営が求められ地域福祉の増進に寄与している。
同施設内に（社会就労センター）障がい者5名が利用していることから、施設内外の利用者との交流（信州新町、小川、鬼無里地区）を積極的に行っており、地域に根ざした施設サービス運営に心がけております。

② 業務の効率化に対する取組み

自ら5年間を振り返るモニタリングを職員と共に行い、施設利用者の意見から生産活動を行い、創作活動の充実のため関係機関との情報交換をし、地域に開かれた施設運営を行って参ります。

③ その他

中条地域の特色ある運営を目指します（例）中条地域特産の料理で使う食材を、当施設の創作活動において生産する。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

業務上の課題として、生産活動（さをり織り製品）が主であったが、景気低迷により企業からの受注量が10%くらい落ち込んだため、その分を施設の目的である創作活動を取り入れ、関係機関との連携により隠れた利用者の定員確保に努めます。

(3) 総合評価

評価基準（計画＝事業計画）

【A】計画や目標を大きく上回る

【B】計画や目標を上回る

【C】計画や目標どおり

【D】計画や目標を下回る

【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

同建物内に就労センターがあることにより他施設交流として合同行事を行うほか、地区内での福祉事業等に協力参加も定着が見られますが中山間地なりに過疎と高齢化による事業参加人数が減り、施設利用者数と事業参加者数の確保が困難となってきています。

② 次年度以降の取組み

自ら5年間を振り返るモニタリングを職員とともに、法人理事会・施設利用者の意見を取り入れ創作活動の充実、更には生産活動の提供を行い、地域に開かれた施設運営を行って参ります。